

One purpose

同志社大学通信
FOR BETTER COMMUNICATION

134

2003
April

DOSHISHA UNIVERSITY

特集●同志社大学は、
今こんなに変わろうとしている。

人気のサバイバルホラーゲーム

同志社人訪問●『バイオハザード』のプロデューサー
三上真司さんに聞く

COVER STORY 表紙の情景



1954年創立という60年近い歴史をもつ第三劇場。精力的に活動しており、2カ月に1回のペースで公演をこなしている。台本から舞台装置、音響まですべて自分たちでつくっているのがこの劇団の魅力の一つだ。

表紙は部室での稽古風景。本番さながらの迫りに圧倒される。稽古は、2分から3分程度のワンシーンずつに区切って演じ、そのつど演出担当者が役者の動きを丹念にチェックする。手の動き、目線、セリフの間など細部にまでこだわり、緻密に仕上げていく。そこからは、彼らが作品にかける熱い想いが伝わってくる。平日は16時から21時まで、土曜は14時から21時までと、毎日稽古が繰り返され、公演が近くなると一日中部室にこもりきりになることもあるという。まさに演劇一色の学生生活だ。

今年2月に行われた卒業公演では、「何故私たちは演じるのか」といういわば自分たちの演劇活動への問い掛けがテーマだった。彼らは一体、どんな答えをみつけたのだろうか。

特集 学長インタビュー



同志社大学は、 今こんなに 変わろうとしている。2

ゼミ・ゼミ おじゃまします 神学部 実践神学演習4 関谷 直人ゼミ

シャーマニズムという視点から 現代社会とキリスト教を考える

7

INTERVIEW ~同志社人訪問~



人気のサバイバルホラーゲーム

『バイオハザード』のプロデューサー 三上真司さんに聞く

9

OP COMMENTARY

土田 道夫 法学部教授 入社一年目にして思うこと

12

新島 襄の旅した風景8

群馬県 安中市

13

同志社って?

キリスト教文化センターについて

16

CAMPUS NEWS

アジアを身近に考えよう。学生企画「アジアンウィーク」開催 / 自ら立ち、自ら治める、『函館キャンブ』 / 「拉致被害者家族連絡会」の 横田めぐみさん の両親が講演 / 京田辺キャンパスの食堂(フオンタナ)リニューアルのお知らせ / 医療費等援助基金について / 学生教育研究災害傷害保険について / 自転車で駆け抜けた京都~北海道 / 「同志社大学ホームカミングデー2003」のご案内 / Neesima Room企画展「遺品から見る新島襄」 / 田井ゼミ・近江ゼミ対抗法律討論会 / 「漢まさ子様を偲ぶ会」が執り行われる / 春学期奨学生募集と学費の延納・分納について / 日・EUフレンドシップウィーク公開講演会・シンポジウム開催 / 新任教員紹介 / 退職教員紹介

17

BOOK・DVD

四谷 晃一 経済学部助手 『盲導犬クイールの一生』

井上 馨 工学部助手 『スタートレック』

23

MY JOB, MY LIFE ~シリ-ズ私と「仕事」~

・多田 穰一さん(1994年 法学部法律学科卒業)

・江原 敦子さん(1998年 文学部社会科学科新聞学専攻卒業)

25

同志社大学は、 今こんなに変わろうとしている。

法科大学院、経営大学院、新学部を設置など、次々と構想が打ち出され、同志社大学は、今、新たな一歩を踏み出そうとしている。ますます高度化、国際化する時代、同志社大学は何をめざし、どう変わろうとしているのか。経済学部4年次生(収録時)の室田泰成さんが八田大学長にインタビューした。

2004年がターニングポイントに。

法科大学院・経営大学院開設

室田 18歳人口の減少が続き、2009年頃には、「大学全入時代」を迎えようとしています。多くの大学で生き残りをかけた改革が進められる中、同志社大学でもさまざまな取り組みが進んでいるようですが、その内容を分りやすく説明していただけませんか。

八田 大学は今、大きな変革のときを迎えています。本学も例外ではなく、さまざまな計画を進行させており、その多くが実現する2004年には、21世紀にふさわしい同志社大学像を示せるのではないかと考えています。

具体的には、2004年4月に、法科大学院と経営大学院がスタートします。法科大学院は、裁判官、検察官、弁護士など法曹を育てるための、専門職の教育機関です。将来は、殆どの法曹が、法科大学院出身者になることでしょう。入学定員は、150人を予定していますが、3割以上は法学部以外の学部や社会人の方を受け入れる予定です。室田さんの所属している経済学部からもこの法科大学院で学ぶ人が出てくるのではないでしょう。一方、入学時に充分法律の知識があると認められた人(法学既修者)は、2年間で修了できるので、2006年には法科大学院出身者が法曹界へ羽ばたいていくことになるでしょう。

一方、経営大学院はMBAの取得をめざす専門職大学院で、1年制と2年制のコースが設置されます。昼間に通えない社会人の方には、ウィークリーの夜と土曜日の授業を受けて2年間で学ぶ2年制コースを用意しています。入



今出川校地「新学生会館(仮称)」

学定員は1年制コースは30人、2年制コースは40人で、経営者などビジネスの第一線で活躍されている方が主な対象となる予定です。本学の経営大学院の特長は、UCLAのアンダーソン校、UCバークレーのハース校や上海社会科学学院と提携し、国際的に活躍できる人材の育成をめざしている点です。中国ビジネス等の国際的なビジネスのニーズに対応する「グローバル・ビジネスコース」やMOT (Management of Technology) 入の需要に応えるコースなど3つの特設コースを準備しています。

これら2つの専門職大学院は、大学会館跡地に2004年3月完成予定の新学生会館で展開することになっており、教室や研究室、図書室、自習室なども完備されます。指導にあたる先生方の体制も順調に整って、法曹界やビジネス界で活躍されている実務家も迎えることになっていきます。

法科大学院、経営大学院はすでに設置が決





まっています。もう一つ構想として浮上しているのが会計大学院です。公認会計士制度の改革に合わせた開設を念頭に計画を進めているところです。

ただ専門職大学院の設置に

あたりでは考えておかなければならない問題があります。これから高度な職業能力を身に付けようという人は専門職大学院に行くわけですから、既存の学部においてもこれまで通りの教育でいいのかどうか考えなければなりません。例えば、法曹の養成機能が法科大学院に移る法学部は、今後どのようなカリキュラムで臨むべきかという問題ですね。

私はひとつの方向として、リベラルアーツ教育に向かうべきではないかと考えています。例えば、経済学部でいうと、経済学に関する基礎的な知識はもちろんです。それに加えて幅広い教養を身に付けることによつて、卒業後、経済学研究だけでなく、経営大学院や法科大学院、さらには他大学の大学院に進むことができる豊かな素地を培う、そんな教育が望まれるのではないのでしょうか。

室田 法科大学院は、司法制度改革の一環として設置されるわけですが、できるのはもちろん同志社大学だけではありません。他大学にもできる。となると同志社大学の法科大学院は他の法科大学院とどの点が違うのかが問われてくると思いますが。

八田 法科大学院には、これだけは習得しなければならぬという科目のほかにブラスタルマのカリキュラムを組む余地が残されています。同志社大学には新島襄が残した「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」と

いう3つの理念があります。同志社大学の法科大学院は、「国際主義」に基づいて、国際的な問題に強い弁護士、国際感覚を備えた法曹関係者を輩出できるようにカリキュラムの編成を進めているところです。

政策学部新設

室田 学部の新設計画もあると聞いています。

八田 2004年4月には、2つの専門職大学院とともに政策学部を新設します。1949年に現在の6学部体制が確立して以来、今日に至っていますが、同志社大学に新しい学部、政策学部が加わることとなります。この学部は入学定員400人で、現代社会が求める高い問題発見能力と問題解決に貢献できる人材の育成を目的とし、政治・行政学、法学、経済学、組織論の各々基礎的部分をきっちり学んでいきます。この学部は、1年次から今出川キャンパスで学びます。

室田 今出川キャンパスに新たに学部が設置され、1年次から4年次まで1600人の学生が学ぶとなると教室など施設面はどうなるのでしょうか。

八田 新町キャンパスの充実で対応します。現在ある臨光館、深水館などを、新しい教室棟・研究室棟・福利厚生施設などに建て替えます。政策学部は主にここで学ぶことになる予定です。また、先程触れた新大会館は、ホールやレストラン、カフェ、会議室などの施設を有し、学生部、保健センター、就職部なども入りますので、今出川キャンパスと新大会館、新町キャンパスが線が通がり、学生生活もより充実したものになるはずですよ。

一方、京田辺キャンパスにも文化情報学部という新しい学部を開設する構想があります。学部名はまだ仮称ですが、理工学的な手法で言語や文化にアプローチするといつ、これまで同志社大学にはなかった学部です。この学部は工学部との連携をも考慮して、4年間、京田辺キャンパスで学びます。構想では、2005年4月から学生を迎えることになっており、学校法人同志社が130周年を迎える2005年には、8学部での新たな展開が始まります。

情報システムデザイン学科・環境システム学科新設

室田 京田辺キャンパスでは、工学部に新しい学科が加わるそうですね。

八田 話が前後しましたが、2004年4月にはおっしゃるように入工学部に2つの学科が誕生します。ひとつは情報システムデザイン学科です。すでにある知識工学科に、この情報シ



京田辺校地情報メディア施設
（「同志社ローム記念館」「情報メディア館」）

同志社大学は、 今こんなに変わろうとしている。

21世紀COE(Center of Excellence)プログラム

2002年度から開始された文部科学省の新規事業。我が国の大学に世界最高水準の研究教育拠点を学問分野毎に形成し、研究水準の向上と世界をリードする創造的な人材育成を図るため、重点的支援を行い、国際競争力のある個性輝く大学づくりを推進することを目的とするもの。当初は「トップ30」と呼ばれていた。



グローバルサイエンス学科 文化情報学部が加わり、本年10月に京田辺キャンパスに情報メディア施設が完成します。同志社女子大学には情報メディア学科があるので京田辺キャンパスは情報系学問のゆかりになります。

新設されるもうひとつの学科は環境システム学科です。地球・人間という両分野から環境について研究することになっており、医師の資格を持つ先生を二人迎えることになっています。

室田 これらの学部、学科を新設するに至ったのは、社会的ニーズがあったからでしょうか、それとも受験生のニーズがあったからでしょうか。

八田 どちらかという社会的要請や受験生のニーズよりも同志社大学の使命という側面が大きいと思います。総合的な見地から問題を発見し、解決にあたることのできる能力を持った人材の育成、人文学・社会学分野に理工学的手法がプロトタイプできる人材、さらに環境やバイオなど、同志社大学は今まで以上に幅広い学問領域に踏み込んでいきます。

危機感を持って、研究・教育機能の充実をはかる。

21世紀COEプログラムに対する取り組み

室田 2002年度の21世紀COEプログラムについて、同志社大学は選定からそれと何っと思っています。

八田 COEというのは文部科学省の方針に基づき、大学および大学院の研究・教育水準を

分野ごとに第三者評価するもので、世界の大学のトップレベルと伍していきたくと評価されると世界的教育研究拠点に選定されます。油断をしたわけではありませんが、本学はおしやる通り選にもれました。この事実を、応募プロジェクトのメンバーのみならず教職員一同が深刻に受け止めており、COE形成推進本部会議を設立するとともに、全学的な取り組みとして学内研究体制の抜本的再構築に着手しました。具体的には新たな研究組織を立ち上げ、さらには、東京に同志社大学東京オフィスを開設し、関連情報の収集にあたります。ただCOEに選ばれることが最終目的ではありません。これはあくまでも結果であり、本学全体の教育水準、研究水準をレベルアップしていくためのきょうかだと認識しています。

同志社大学が育てたい人物像と少人数教育

室田 先程、新学部ができるというお話でしたが、同志社大学にはなかなか変われない理由、変革への阻害要因があったのでしょうか。

八田 同志社には128年にも及ぶ長い伝統があり、各学部には優秀な人材を輩出してきたという誇りがあります。時代の変化に対しても、従来のやり方を深める、あるいはカリキュラムの変更で何とかやっていけるのではないかと、そう考えて実行してきました。しかし、いよいよ6学部では扱いきれない分野が出てきましたし、社会的要請もそうした新しい分野に集まり始めました。他大学に比べて同志社大学はゆっくりしていると言われてもしかたない面もありましたが、こ

にきて2つの専門職大学院、2つの新学部、そして工学部には2つの新学科が加わるわけです。母校の行く末を心配されていた卒業生の方々からも、ようやく同志社も動き出しましたね。という声がかかるようになってきました。校友会の支部総会に出席しても、卒業生の方々の期待をひしひしと感じますね。

室田 新しい学部や学科に託したビジョンは何なのでしょう。あるいは、同志社大学が育てたい人物像というのはどのようなものなのでしょうか。

八田 同志社大学には、新島襄のいう「良心を手腕に運用する人物」を育てるといって、128年間、一貫して守ってきた建学の精神があります。単に知識を身に付けるだけなら、大学間にそれほど大きな違いはありません。問題はそれをどう生かしていくかです。同志社大学はその根本にキリスト教主義を置き、身に付けた知識を世の中のためにどのように生かしていくかを常に問うてきました。ただ私学の悩みとして、どうしてもトップ教育化せざるを得ない現実がありました。しかし、この問題に関しては徐々に解消されつつあります。教員一人あたりの学生の数を減らし、ゼミで経験するような学生諸君と教員の人的なつながりを取り戻して、全学的に教養教育を行き渡らせたいと考えています。

室田 海外の大学ではレポートを提出すると先生からコメントが添えられ、修正して再提出もできました。このようなインタラクティブな教育が同志社大学でも実施されたらいいなと思



GPA(Grade Point Average)制度

GPA制度とは、各科目の成績評価を5段階(A,B,C,D,F)で評価し、各成績評価段階に4,3,2,1,0の評点(Grade Point)を付与して、1単位あたりの評点平均値を算出する制度。



います。

八田 先生が教壇から一方的に教えるのではなく、双方向型の授業を行うのが教育の理想だと思っています。インターネットなど、IT技術がそれを補えば、さらにきめ細かいミニミニセッションが可能になるでしょう。しかし、基本は少人数教育です。先程は触れられませんでした。政策学部の入学定員400人というのは、新しい学部で400人が加算されるのではなく、経済学部、商学部の入学定員を各150人、法学部の入学定員の100人を振り替えることで誕生します。教員の数は減らさず、むしろ増やす方向にありますから、法・経・商の3学部については教員一人あたりの学生数がかなり減ることになります。

室田 学生のニーズを満たしていくことも重要だと思つのですが、大学はどういう形で満たしているのでしょうか。

八田 直接の接点は一人ひとりの教員が持つていきますから、その声を教授会などへ上げていく、あるいは学校の各部門の窓口になっている職員が学生の声を組織の中で生かしていくことが大切です。ただ私としては、情報化時代の

今日、学生諸君が直接ミニミニセッションでき

る環境も必要だと考えています。現在、学生諸君の生の声を聞くために、ホームページ上に「サイバー学長室」を設けており、学内外から直接メールをいただき、できる限り回答も含めてホームページ上で公開しています。

また大学を構成するのは学生と教職員だけでなく、卒業生も重要な構成員だと考えていますので、お招きがあれば全国各地の校友会支部総会にもできる限り出席し、卒業生の方々の声を聞くようにしています。

GPA制度の導入

室田 2004年度からGPA制度を導入しようと考えられているそうですね。

八田 GPA制度というのは成績評価をより厳密にしているというものです。現行成績評価制度では不合格・放棄科目は平均点に算入されなかったのですが、不合格・放棄科目がFに統一され、評点平均値に算入されることによつて、成績評価表示の透明性と厳格性が向上する点になります。

室田 アメリカの大学では一般的な評価システムですね。

八田 まだまだ検討中ですが私は方向としてはよいのではないかと考えています。GPA制度が導入されると、学生諸君も今までのように不安な気持ちで登録履修しなくなるのだらうし、真摯な姿勢で授業に臨むでしょう。一方、それだけ厳しいことを実施するわけですから、教員側も自分の授業の得点分布がどうなっているか学生に示さなければならぬだろうし、授業の内容についても工夫を凝らしてい

くと思います。

室田 GPA制度は海外を意識していますよね。同志社大学は新島襄の精神を受け継いで国際主義を標榜していますが、学生の立場からすると海外提携校にしても、交換留学生枠にしてもまだまだ少ないですね。

八田 海外提携校は現在55大学です。本学が受け入れている留学生数は留学生別科生も入れて約300人。学生数が約25,000人ですから1%余りに過ぎません。一方、1年間の派遣留学生制度で送り出す学生は約55人。その他、6つのサマープログラム、専集人員合計約120人やカナダのウニナク大学で実施される、セメスター海外英語研修プログラム(専集人員30人)があります。しかし、国際主義、国際交流と言つからにはもっともっと増やさなければいけませんね。新島襄は海外で学び、その成果を持ち帰つたわけです。海外からの留学生には、その知識と思想を祖国に持ち帰つて欲しい。また、海外に留学する本学の学生には、海外での数カ月、あるいは1年は何ものにも変えがたい経験になるわけですから、いろいろなことを吸収してきて欲しいですね。

室田 例えば私が参加したセメスター留学にしても、応募できなかったり、卒業単位に算入されない学部や学科・専攻があります。

八田 同志社大学では伝統的に学部教授会の自治、カリキュラムに対する考え方を尊重していますから、そういう現実もあるかと思いますが、ただ各学部で留学体験者が増え、海外での貴重な体験を持ち帰ることによつて、留学体験の良さが周りに浸透していけば、より良い方向に収束していくと思います。

同志社大学は、 今こんなに変わろうとしている。

課外活動と同志社スポーツ

室田 私はAIESEC(アイセック)という団体に所属していたのですが、学生組織と大学の関係はどのようにお考えですか。

八田 課外活動に関しては、学生の自主性を尊重しています。大学の役割には2つあると考えています。ひとつは専門性で、これは授業を通して与えられます。もうひとつは人間性の涵養です。これは授業よりも、クラブ活動やサークル活動、ボランティア活動を通して、あるいは教職員との人間的な交流や読書を通して、学生が主体的に学んでいくものです。大学として、学生諸君がそうした場を積極的に求めていけるような環境を整えることが大切だと思います。今、京田辺キャンパスに2003年4月末の完成を目指して教員ラウンジ棟(交隣館)の建設が進んでいます。この建物は先生方の研究室、控室があるというだけでなく、1階に学生諸君が自由に出入りできる交流フロアを設け、授業を離れて先生とコミュニケーションしてもらえるようになっていきます。

ところで私は昨年まで関西学生野球連盟の会長をしていましたが、室田さんは同立戦の応援にいったことがありますか。

室田 残念ながら……。

八田 校友会の支部総会に出ますと、同志社のスポンサーをなんとか強くしてもらえませんか、という声をよく聞きます。個々の種目では優



秀な選手が出ていますが、全体的に低調な感
は否めません。スポンサーを応援してほしい
とか、経済的にもっと支援してほしいとか、
いろいろ声が寄せられてくるので、今年度課
外体育委員会に意見を求めたところ、答申が
出てきました。それによると、現在、入学に関
わることは各学部、体育会関係は学生課、施設
関係は京田辺校地教務事務室体育係と所
轄が分かれている。これを一元的に管理でき
るスポンサー支援センターのような組織をつ
くり、全学的にバックアップしていったらどう
だろうというものでした。私も同
感で、ぜひともこのような組織
づくりに取り組み、強い同志社
スポーツを再現したいものです。

教育体制の再構築

室田 古い組織はほころびが生
じたり機能しなくなることがあり
ますね。なのに、教員の中には古
いノリを取り出し毎年同じ授業
をされている方がいらっしゃいます。

八田 ご存知だと思いますが、
学生の皆さんに授業評価をして
もらっています。このアンケートの結果を教
える側にも自覚してもらおうとしています。
かつては、良い研究者は、良い教育者である
という認識でした。しかし、これは一部のエ
リートに高度な理論を教えていればよかつた
時代の話です。18歳人口の50%が、短大・大
学に進学する今日、教えるシステムも変えて
いかないといけないでしょうね。

室田 ある教員が提案されていたのですが、



インタビュー
室田 泰成さん
【経済学部 4年次生】
(収録時)

札幌生まれ、奈良県在住。1年次からAIESEC同志社大学委員会に所属し、海外研修生交換事業に携わってきた。2002年秋には、タイへのスタディーツアーに参加し、現地のメンバーと共に女性の人権に

関わるNGOの活動を視察した。3年次秋学期にはカナダのUniversity of Winnipegへ Semester 留学。卒業後は、カナダのCarleton Universityへ進学し、開発学を専攻する予定。

大学の教員を海外の市場に出し、逆に海外からも教員を招いてみてはどうだろうと言
うのです。つまり、大学の授業を世界的な自
由競争の場にさらすわけです。そうすると、
同志社大学の教員はもろろん、学生も外国
語をはじめ一生懸命勉強せざるをえない状
況になる。

八田 面白いですが、終身雇用や年功序列
が残っている我が国の教育界の現状では、ま
だ難しいかもしれません。ただ、私の生まれ
た年の出生人口は269万人でしたが、昨
年の出生人口は115万人。18年後、この
50%が進学したとすると57万5千人。現在
の大学の収容人員は76万人ですから明らか
に大学は供給過剰です。このような中で生
き残ることができる大学は、学生の満足が
得られる大学です。その流れでいくと供給
側、大学側が教育体制をどのように再構築
していくかが問われるのは自明の理であ
って、同志社大学の教職員にはそうした自覚
を持ってほしいし、持っていると思っています。

室田 今日学長のお考えがよく分かりま
した。ありがとうございます。

シャーマニズムという視点から 現代社会と キリスト教を考える



関谷 直人
(神学部助教授)



発表者

織田 唱子さん

(神学部神学科4年次生)

「キリスト教と癒し」というテーマで研究を続ける実践神学演習Ⅳ「関谷直人ゼミ」。現代の高度情報化社会を踏まえ、さまざまな視点から議論を行っている。テーマに切り込む視点も多様で、今回は「シャーマニズムという癒し」を取り上げる。

(学年は取材時)



織田 今日このテーマは、シャーマニズムという「癒し」です。シャーマニズムを取り上げた理由は、現代社会、そしてキリスト教を考える上で有効な視点だと考えたからです。まずシャーマニズムとは、万物に霊魂が宿るとするアニミスムの世界観を基本にし、「シャーマン」を中心とした宗教現象を指します。多くのシャーマンは、トランスやエクスタシー状態において自分の霊魂を体から切り離れた

り、体内に霊を招き入れることで、神霊や死霊などと交流して予言や悪魔払い、治療などを行うとされています。

シャーマンは、キリスト教や西洋医学が発達する以前から、ヨーロッパを含む世界各地に存在していたと考えられています。日本では「巫者」と呼ばれ、邪馬台国の女王卑弥呼や沖縄・奄美諸島のユダや東北地方のイタコなどがよく知られています。

シャーマニズムという視点から 現代社会とキリスト教を考える



次にシャーマニズムが社会に果たしてきた役割について考えましょう。沖縄の「オラは、今でも地域の人々に影響力を持つ存在ですが、多くの場合「オラになる前に、離婚や親族との離別などの不幸な体験をきつかけ」「カミダリー」といわれる不安定な精神状態に陥ります。この状態は精神障害者と紙一重です。しかし、この状態に対して本人や周囲が「オラになる前の神がかり的な状態だ」という共通認識があることで、共同体から弾き出されることなく受容されるわけです。また「オラは家庭内の不幸の原因を神話になぞらえて伝えたり、悩みを抱える人の相談にのるなど、カウンセラー的な役割を担ってきました。」

「このように見てくると、ストレス社会といわれる今日、シャーマニズムにも学ぶべき点があると思うのですがいかがでしょうか。」

高嶋 シャーマニズムというのは、価値観を共有する社会的、文化的枠組みの中に、社会からはみ出した者をつまくり取り込んで機能さ

せたのですね。

足立 先日、小田晋^{すま}氏が書いた『宗教と犯罪』を読んだのですが、シャーマンは急性精神病だと結論つけていました。そこにはなぜシャーマンが存在していたかという視点が抜け落ちていたように思います。

織田 中世のキリスト教もシャーマンの存在意義を考えずに、否定してしまいました。魔女狩りがその顕著な例です。当時、ヨーロッパには農業や狩猟儀礼、葬儀などに携わるシャーマンの存在や薬草を使って医療を行う薬師などがいましたが、彼女らを魔女として槍玉に挙げ、魔女裁判を行って焚刑に処したわけです。「神教」というのは、どうしても自分たちの神だけを絶対的存在とし、他宗教を排斥する傾向があります。

尾崎 キリスト教では、シャーマンが行う死霊の口寄せを悪霊の仕業としていますね。

関谷 旧約聖書の中では、その口寄せが否定されています。キリスト教のような「神教では事物に霊が宿っている」という考え方は出てきにくく、宿っているものが「霊」となると、それは消し去るべき悪霊と「いつ」となるわけです。

しかし、キリストの使徒パウロが異言を語っている聖書の記述や、カトリックの聖人崇拜



などは、何かしらシャーマニズムに通じるものを感じますね。

福島 キリスト教とシャーマニズムがうまく融合した形として、「ラスタファリズム」が挙げられます。ラ

スタファリズムは、旧約聖書の教えを黒人に当てはめて再構築したもので、キリスト教の分派といえ、ジャマイカなどに信仰されています。その集会「ナイヤビンギ」を実際に見たことがあります。歌ったり、お祈りしたり、ダンスをしたりするのですが、確かに神とトランス状態で交流するシャーマン的な人がいました。

北谷 ナイヤビンギで歌われる音楽が、レゲエのルーツらしいですね。

織田 シャーマニズムを起源とする文化はものすごく多くて、能や演劇などにもその影響を見ることが出来ます。シャーマニズムの世界観は、芸術と根底でつながっていたら、とても過言ではないでしょう。

関谷 シャーマニズムを否定しがちな現代社会は、大事なものをいろいろ失っているのかもしれないですね。シャーマニズムが機能している社会では、その枠組みからはみ出た人も社会構成員の一人としてしっかり受け入れ、癒しのメカニズムとして機能させていた。かつてのシャーマニズムをそのまま現代に持つてくるのは難しいでしょうが、シャーマニズムの考え方を生かしながら、現代社会に適した癒しの形を考えていくのが今後の課題です。



人気のサバイバルホラーゲーム

『バイオオハザード』のプロデューサー 三上真司さんに聞く



盛 気力と体力は、ゲームづくりに欠かせないわけですね。

三上 この2つが欠かせないと痛感するのにそれほど時間はかかりませんでした。入社して1カ月後には、ゲームの原案を考えて制作進行を管理する企画マン、今でいうプランナーとして、5人ほどのスタッフとともにクイズゲームの制作を行いました。私にとって初めてのゲーム制作でしたから、試行錯誤をくり返し午前3〜4時まで仕事をする日々が続きました。このゲームは、任天堂のゲームボーイとしてはじめての対戦型ゲームで、ノウハウがなく苦労しました。ゲームの発売を中止するかしないかというところまで追い込まれ、ギリギリの状況で何とか仕上げました。充実感とともに疲れがどっと出ましたね。その後、開発部長が3日間の休みをくれたので

盛 随分厳しいですね。

三上 なかでもいちばん厳しかった人が、当時の開発部長で、鬼のような存在でした(笑)。しかし、その人に鍛え上げられたおかげで、ゲーム制作のプロとしてやってこられたと思います。そもそも私はゲームづくりのスキルが不足していました。あるとすれば気力と体力だけ。でもこのうちの取り柄があったから、今まががんばってこることができたといえます。

盛 今日、バイオオハザードシリーズをプロデュースしてこられた三上さんからお話を伺えると聞き、楽しみにして参りました。短い時間ですが、いろいろ吸収して帰りたいと思っています。

三上 風邪をひいていますが、これはもって帰らないよ(笑)。入社した頃は、風邪をひくと、自己管理もできないのか!とよく上司に怒鳴られたものです(笑)。



人気のサバイバルホラーゲーム
『バイオハザード』のプロデューサー 三上真司さんに聞く



すがその間に新しいゲームの企画を考えて来いと、厳しい洗礼でした(笑)。
盛 今でも制作現場の厳しさは変わらないですか。

三上 当時と比べると無茶は少なくなりましたね。といっても昨年発売したゲームマスター版バイオハザードの制作でも、新人のスタッフなどは、自分の仕事をこなすために朝方まで仕事をすることもしばしばありました。ゲームキューブ版の制作は初挑戦にもかかわらず、スタッフたちのがんばりでクオリティの高い作品になったと思います。

盛 私はバイオハザードと聞くと、ゲームの中でたくさん現れるゾンビを連想します。サバイバルホラーという新たなジャンルを築いたこのゲームを制作する上で、影響を受けたものはありますか。

三上 影響を強く受けたもののひとつに、中学生の時に見たアメリカ映画『DAWN OF THE DEAD』があります。この作品は1978年にジョージロメロという監督が制作したホラー映画で、ゾンビがぞろぞろ出てきます(笑)。ショッピングセンターにいる4人の男女にゾンビたちが突然襲い掛かってきたりと、見ていてドキッと驚くんですね。しかし、僕だ

Profile



三上 真司さん

【1990年商学部卒業】

1965年8月11日生まれ。同志社大学卒業後、株式会社カプコンに入社。以来『ハテナ?の大冒険』や『アラジン』などを開発。1996年ディレクターとして『バイオハザード』を世に送り出す。その後も『バイオハザード』シリーズ、『ディノクライシス』シリーズ、『デビルメイクライ』などをプロデュースする。2002年に発売されたゲームキューブ版『バイオハザード』は、5年ぶりにプロデューサーとして現場復帰しての作品。現在、カプコン第4開発部部長。

つたらここで驚かすのにと疑問に思っ点もありました。それがずつと頭の片隅にあり、身構えるような怖さをゲームで体験してもらいたいと、バイオハザードの制作につながったわけです。

盛 バイオハザードシリーズでは異常な状況下でゾンビと戦うわけですが、その表現が過激すぎるという意見もあり、暴刀、出血などのショッキングな表現が含まれています。という注意書きが添えられていますね。

三上 ゲームづくりにおいて大切なのは、ユーザーが満足できるかどうかです。私たちはエンターテイナーです。いつも常識の範囲で物事を考えていては、ユーザーが満足できるような表現は生まれてきません。単に大量の血が流れたり、ゾンビを倒すシーンが残酷だからといって過激すぎるとは思いませんね。ただユーザーが不快に感じるような表現だと判断すれば、それはカットします。しかし、不快だという感じ方が人それぞれ違うので、線引きのラインを判断するのに難しい面もあって注意書きを添えているわけです。

盛 三上さんは大学で商学を学ばれたそうですが、ユーザー満足度を考えるなどマーケティング的な視点がゲームづくりに生かさ



れていると思うのですが、いかがでしょうか。

三上 大学生の時は、あまり勉強していませんでしたので……(笑)。ただゲームというのは実際に発売してみないと分からない部分が多いですね。1996年にバイオハザードを出した時も、ヒットするという確固たる自信はありませんでした。映画を撮り続けた故伊丹十三監督も、長年撮り続けていても、映画が公開されるまでヒットするかどうか分からないとおっしゃっていましたね。しかも、消費サイクルがとて短いわけです。マーケティングの視点だけではなかなか難しい。ただ続編はタイトルブランドがある程度確立されていれば、予測しやすいところはありますね。

人気のサバイバルホラーゲーム

『バイオハザード』のプロデューサー 三上真司さんに聞く

盛 バイオハザードシリーズがヒットした理由のひとつには、やはりクオリティの高さが関係していると思うのですが。

三上 確かに今、クオリティの高い作品が作れるようになっていきます。しかしその半面、技術がどんどんハイテク化していて、そのスピードがとにかく速いわけです。数年前のゲーム画面を見るとそうとします。こんなに変わ



らなければならぬのかと、冒頭の話に戻りますが、やっぱり制作現場は厳しいわけですね。私は30歳を境に少し離れた位置から制作現場を見てきましたが、逆境にあっても優秀なクリエイターほど前へと進んでいくんですね。自分の持っているすべてのエネルギーをゲーム制作につき込んでいく。今年72歳で亡くなった深作欣二監督に、『クワタワヨ』という

ゲーム制作の監督をしてもらいましたが、とにかく映像にかける情熱がものすごいわけですね。ご高齢にもかかわらず、アクションシーンの見本を自ら演じて見せたり、仮眠されるだけの日々が続いても作品に対する情熱はまったく衰えない。理論というより情熱を含めた人間力で他のスタッフを引っ張っていました。これからゲーム業界に入ってくる学生には、その人間力を養ってほしいですね。

盛 三上さんが大学生の時に重点を置いたのはどんなことだったのでしょうか。

三上 学生の時は、中国拳法ばかりしていましたね。セミでは岩下正弘先生の下、商品学を学んでいましたが、ほとんど身に付いていません(笑)。就職活動の時、商学部学生なら当然知っておくべき「価値」と「使用価値」の違いを答えられませんでしたからね。ただ岩下先生には人として学ぶ点が多かったです。先生は口では「こう生きる」と言わず、その姿から語る気骨のある人でした。時には厳しく、時には優しく教えてくださり、人として何が大事なのかを学んだように思います。ゲームも大学生にならうてはじめて触れて好きになり、以前からのものづくりをしたという気持ちと相まってゲーム業界へ進むと決めたのです。大学生活の4年間というのは、自分の進みたい道を導き出せた助走期間でしたね。

盛 最後に在学生へのメッセージをお願いします。

三上 先ほども言いましたが、人間力を磨いてほしいですね。大学での勉強だけでなく、社会勉強もいっぱいしてください。

盛 今日、風邪をお召しにもかかわらず、貴重なお話ありがとうございました。

INTERVIEWER



もり 盛 博美さん

【工学部機能分子工学科4年次生】
(収録時)

同志社大学入学後、ゲーム制作も手掛ける電気研究会に入会。同会でプランナー、プログラマーとしてゲームづくりに励む。またDONET(同志社大学学生マルチメディア運営局)や情報処理端末補助員などにも積極的に参加。4年次では無機合成研究室に所属。大阪大学大学院環境材料学専攻へ進学。

ゲームのことを話す三上さんからは情熱があふれ出ていました。

現在、ゲームソフト制作大手のカプコンで第4開発部部长として120人のスタッフをまとめ、ゲーム制作に取り組む三上さん。淡々と語る中でもゲームづくりへの情熱が伝わってきました。「時間を忘れ制作に没頭するクリエイターほど人間的には最低だと思うよ。だって、家族や他人に割くエネルギーをすべてゲーム制作に注ぎ込むわけだから。でもゲームには、自分の持っている力すべてを注ぎ込む価値があります」と三上さんがいうように、それくらいの意気込みでやっていかないと人に夢や楽しさを与えるゲームはできないのだと感じました。私は大学卒業後、大学院に進学し研究活動に携わりますが、今日のお話を心に留めて、これからの学生生活において、やりたいことに全力を尽くしていきたいと思います。

入社一年目にして思うこと

早いもので、同志社に入社して一年が経とうとしている。その感想は、研究・教育・事業すべてのスケールが大きく、同時に、教職員・学生の気質もおおらかというところである。今出川キャンパスも美しく、しかも、重要文化財の建物を現に使用しているというのが素晴らしい。現に私も、クラーク記念館で法科大学院仮称開設準備の仕事をしている。ティーチングアシスタントなどの教育支援体制や、研究の質的・量的サポートも充実したものだと思う。

私は、そんな同志社大学が大好きである。もともと組織に「ミットしやすいい性格」であり、現在では人一倍愛社精神が強い人間ではない

かと自負している。早速生協で同志社ネクタイを購入し、昨年の同志社大学東京講座にはそれで出講したのだが、その夜の前任校OBの飲み会ではひんしゆくを買ってしまった。ラグビー同立戦における快勝にも感動した。

このように愛社精神が強く、かつ、東京から来たばかりの人間から見ても、一つ一つ感じるところを述べてみたい。まず、本学の学生や卒業生と話すところから始めていく。斜に構えている人が多いような気がする。同志社では、当然「**と**」という意識と同志社な「**て**」の程度という意識が混在している印象である。私など、早稲田大学のような自信過剰気味のデモンションを予想していたので、拍子抜けしてしまっ。もちろ

ん、母校を厳しく見ることは大事だが、それも過剰になると、逆に発展性がなくなる。もう少し愛社精神とかプライドを強くもってほしいのではないか。

大学の格という点でいえば、東京の人間から見ると、西の私学といえは同志社大学である。先日、早稲田大学の友人と話をしていたら、私のゼミを含む法学部のゼミと合同合宿をしたいと提案された。ゼミの学生に同志社大学への関心が強く、学生同士、交流したいという希望が強いそう。前任者の安枝先生以来の伝統があり、私の労働法ゼミでは、昨年も早稲田大学の労働法ゼミと合同合宿を行った。両校間の長年の交流ということもあるが、

同志社大学に寄せる早稲田大学の関心は相対的に高い。同志社大学のそうしたポジション(格)をぜひ認識し、プライドをもっていたきたいと思う。

しかし、立命館大学が改革を進め、注目されているという事実もあるので、今後進められた方がよいと思うことを一言述べる。京都を愛し、その発展を願っている私であるが、東京に注目が集まる現状では、同志社大学を東京に発信する取り組みを強めるべきだと思う。前述の東京講座は、師走という慌ただしい時期の金曜日6時半〜8時という時間帯に、有料(2000円)という条件にもかかわらず、多くの受講者が集まった。またアンケートでは、年二期に分けて実施してほしいという意見や、MBAの夜間コースを東京で開講してほしいという意見があった。東京でも、同志社大学への期待は大きいのである。COEやCOLはもちろん重要だが、大学の人的資源である教職員の高度な専門的知識を活かして、東京に同志社大学を発信する努力を続けることも大事だと思う。

2004年には、本学でも、法科大学院仮称(と経営大学院(仮称)がスタートする。先の東京講座は、受講料2000円でも、授業評価は結構シビアだった。まして、学費が三桁連う法科大学院や経営大学院では、学生の費用対効果の意識はきわめて高いに違いない。そうした期待に応えるべく現在、入念な開校準備が進められている。両専門職大学院が同志社大学の新たなページを開くことを確信している。

土田 道夫

Michio Tsuchida
法学部教授



1957年茨城県生まれ。東京大学大学院博士課程修了(法学博士)。2002年度から現職。専門分野は労働法。主な著書に『成果主義人事と労働法』など。

新島襄の旅した風景

あんなか
安中市（群馬県）



新島襄は、1843（天保14）年江戸の神田で生まれている。したがって安中は、厳密には新島の故郷とは呼べない。新島家が仕えた板倉家の居城があった町に過ぎない。しかし、脱国後10年ぶりに祖国の土を踏んだ新島は、役所への挨拶回りもその間に、一路父母が住む安中へと急いでいる。



入っている。新幹線を使えば今なら1時間余りで訪れることができる。28日の深夜に安中に着いた新島はその夜は山田屋に泊まり、翌朝新島家に入っている。

今回訪れた新島家旧宅は、1964（昭和39）年に当地に移築されたもので、もともとはもう少し東方にあったそうだ。二軒長屋のうち、新島家が暮らしていた東半分だけ当時の姿を残し、西半分は展示室になっていた。1868（慶応4）年に出された帰郷命令にに応じて江戸から安中にもどった新島家の人々は、寺での仮住まい生活を経て、この二軒長屋に住まうことになる。新島を可愛がってくれた祖父は新島帰郷の3年前、弟雙六も前年に他界していた。リュウマチを患う父民治は、病床で新島を迎えている。民治はそのときの様子を、一生ノ歎喜此時二在リ」と記している。

安中での新島は多忙を極め、近隣の町や村から新島をひと目見ようと来訪者が引きも切らなかつたという。新島自身も精力的に動いている。各地に足を運び、機会を見つけて説教を行っている。その会場のひとつとなった龍昌寺が近くにあると聞き、訪れてみた。和合の鐘で知られる曹洞宗のこの寺で、なぜキリスト教の説教が行われたのだろうか。安中市

史編さんにあたられている井口貫さんがこの疑問に答えてくれた。住職がいなかった寺で、たまたま寺子屋として使われていたのです。さらに続けて、新島先生の説教が多くの人を集めた背景には、海外事情を知りたいという好奇心とともに、何とか新しい社会に順応したいという元士族の思いがあったからですと語る。



龍昌寺は「和合の鐘」で知られ、参道の両側に108つの鐘が並ぶ。

新島の滞在は、当初の予定を大きく超え、12月24日までおよび、この間の説教で感化された人の中には、元士族の中心的な人物だった千木良昌庵や青年実業家の湯浅治郎などがいた。しかし、もともとも大きな影響を受けたのはやはり新島の親族であらう。父民治は、新島の米国での養父母ハリー・夫妻へ送った書状に、私はもはや彼を息子と呼ばず、神から送られてきた人のように扱いたいと存じます」と綴っている。

新島が赴任地である関西に去った後、千木良たちはどうしたのだろうか。龍昌寺から旧中山道に出ると、「有田屋」の看板を掲げた商

新島家旧宅

旧安中藩武家長屋から1964年に移築されたもの。東半分は、父民治たちが暮らした室内が復元され、西半分は新築して内部は新島襄関連の資料の展示室・管理入室になっている。安中市指定史跡。

安中市は群馬県の中央部やや西方に位置する。碓氷峠を越えるべく、向こうはもう長野県軽井沢だ。かつて安中藩の城下町だったが、現在、城はなく、長く伸びた街並みが中山道の宿場町として栄えた往時をしのばせている。1874（明治7）年11月26日に帰国を果たした新島は、28日早朝東京の板橋を人力車で出発、20時間を費やしようやく深夜に安中に

安中市(群馬県)



旧中山道の街道筋たたずむ「有田屋」。今も天然醸造の醤油を造り続けている。

家が静かにたたずむ。この有田屋の当時の当主が湯浅治郎である。有田屋は安中藩の御用商人で、1833(天保3)年に創業。味噌、醤油の醸造業を営んできた。湯浅治郎は3代目当主にあたり、新島に出会う以前から日本最古の図書館のひとつである便覧舎を設立するなど、開明の商人として才能を発揮していた。千木良たち求道者は、この便覧舎に集まり聖書を会読し、信仰を深めていったという。湯浅について井口さんは、群馬県会議長として全国に先駆けて廃娼条例を成立させた人です。衆議院議員にもなっています。が2期で辞め、新島先生亡きあとの同志



便覧舎の碑。便覧舎は民間人が創った日本最古の図書館として知られる。

有田屋を後にし、大名小路を東へ数百メートル進むとやがて左手に安中教会が見えてくる。五味一安中教会牧師にご案内していただいた。礼拝堂(新島襄記念会堂)と教育館は車椅子用スロープの工事中だったが、礼拝堂内に入ると、湯浅治郎(初代牧師の海老名弾正、4代目牧師の柏木義円、それにアメリカン・ボードの宣教師で新島の良き理解者だったシエロム・D・デイヴィスの肖像画が掲げられていた。本来なら

社英学校を財政面で支えました。さらに安中教会の大功労者であり、徳富蘇峰の民友社や柏木義円の『上毛教界月報』も彼の助力に負うところが大きい。ただ家風なのが、つねに裏方に徹した方ですね」と説明。さらに面白いエピソードも聞かせてくれた。三男の三郎氏に家督を譲るにあたり、湯浅氏は三郎氏に家業を売っているのです。したがって後継を継いだ三郎氏は毎月売上の一部をもって父への返済にあてています。あえて美田を残さず、を地でいくような逸話である。彼は八男六女に恵まれるが、長男の一郎は黒田清輝に師事した洋画家。三男の三郎は家業を継ぐとともに1926(大正15)年にはキリスト教主義の幼稚園(安中二葉幼稚園)の創立を陰で支えた。五男の八郎は同志社第10代・第12代総長で、後には国際基督教大学の初代学長に就任している。ちなみに孫にあたる5代目当主正次は、キリスト教主義を掲げる新島学園の創立者であり、日本で初めて近代個人詩集を発表した詩人湯浅半月は治郎の実弟である。



井口 寛さん
元安中二葉幼稚園の園長で、安中市史編さん委員会調査委員も務めている。新島襄や安中教会史に精通され、住まいも安中教会の近くにある。

新島先生の肖像画もご覧いただけるのですが、安中市ふるさと学習館で開かれている「新島襄の生涯」展に貸し出し中です」とのこと。
1877(明治10)年、伝道師の派遣を依頼された新島は、まだ学生であった熊本バンドの俊才海老名弾正を安中へ送り出し、夏期伝道にあたらせている。そのあたりの事情を五味牧師は、当初は、安中の求道者の一人が商用で横浜に出向いた折、長老派の教会に応援を求めたようですが、安中の人たちはこれに驚き、直ちに新島先生に、ぜひ同志社からよこして欲しいと懇願したようです」と説明してくれた。翌年3月末には新島自ら安中に入り、便覧舎で集会を開くとともに、千木良夫妻、湯浅夫妻など、男女30人に洗礼を授け、30日には教会を設立した。当初は湯浅の共同養蚕場を飯会堂としていたが、後にこれを移築、改築して洋館の礼拝堂(確水会堂)とする。現存する礼拝堂は湯浅治郎の提案を受け、1917(大正6)年に



安中教会礼拝堂

安中教会は、1878(明治11)年、湯浅治郎ら地元
の信徒30人によって設立された群馬県最初のキリスト
教会。現在のごシック様式礼拝堂は、1919(大正8)
年、新島襄没後30周年記念に建て替えられたもの。
正式名称は新島襄記念会堂。



五味 一 安中教会牧師

新島永眠30周年を記念して立案され、2年
後に竣工したものである。門の左手にはこ
の功労者を讃える「雲外碑」が建つ。雲外と
は湯浅治郎の雅号である。

大名小路を挟んで礼拝堂の向かいには、義
円亭が建つ。これは信徒が建て、柏木義円
に寄贈したものだといふ。五味牧師は、この
柏木を湯浅と並ぶ教会の恩人だといふ。安
中教会は、初代牧師の海老名弾正が土台を
築き、2代目の杉田潮が柱を建て、4代目の
柏木義円が炉を切り、火を入れたといわれ
ますが、教会にして柏木はそれ以上の存在
でしょう。海老名が安中、前橋、東京、さら
に同志社の総長へと転身していったのに対
し、柏木は1897(明治30)年に湯浅氏の
推挙で仮牧師に就任して以来、38年の長き
にわたって安中教会の牧師を務めています。

その間、「上毛教界月報」を刊行し、日露戦
争、第一次世界大戦、満州事変と一貫して非
戦を訴え、健筆をふるっています。

柏木義円は、浄土真宗西光寺の住職の長
男として新潟県与板に生まれている。東京
師範学校を卒業後、小学校校長として群馬
に赴任し、キリスト教に開眼。同志社英学
校に入るが学費が続かず中退。再び群馬に
もどり、安中教会で海老名から洗礼を受け
ている。1885(明治18)年には同志社普通
学校に再入学。在学中、新潟から、同志社の後
事を託すといわれたほど信頼が厚く、柏木
自身も新島を師と仰ぎ、自由と人権の尊重、
教会の自立自立といふ新島の教えを生徒守り

買っている。

安中教会の設立後、甘楽(かんらく)原市(はらいち)そして前
橋へとキリスト教は燎原の火のように県下
に広がっていった。海老名や柏木らの活躍に
負うところが大きいといえ、それはかりと
はいえない。そのあたりの事情を知るため
に少し歴史にふれておきたい。

幕末期の安中藩には板倉勝明(いたくらかつあき)という名君
がいた。学問を奨励し、下級武士でも有能な
者は抜擢された。海軍思想が広がり、世界に
目を向ける風土が培われていたのだ。これは
新島から最初に洗礼を受けた30人のうち27人
が元士族であったこと無縁ではないだろう。
一方、維新後は産業が興り、一帯は全国有数の
養蚕地となった。ここで産する生糸は良質
で高崎のものより余程高値で取引されたとい
ふ。このような活発な経済活動を背景に、
有田屋のような豪商が誕生。彼らは「リー
タラム」を受け入れ、積極的に私財を提供し
て教会の自立を助けている。

新島は脱国前に1回、帰国後に7回安中
を訪れている。ある時は伝道のために、ある
時は募金のために。2度目の訪問以降、滞在
期間は決して長くはないが、活動の節々に訪
れている。もちろん父母に会うためにはな
い。家族は早くに京都に呼び寄せていた。安
中には彼が幼少時代に江戸の安中藩邸で馴
れ親しんだ精神風土が残っていただけでな
く、彼の自由自治の精神に共感し、支持して
くれる同郷人がたくさんいたからだ。彼は
安中に生まれてはいない。しかし、新島にと
って安中は間違いなく心のやすらぐ故郷で
あったのだらう。

同志社って？

キリスト教文化センターについて

1875年11月29日午前8時、新島襄とデイヴィスそして6人の学生による情熱と涙にあふれる祈りとともに同志社の歴史は始まりました。同志社には、自治自立を目指すキリスト教主義教育と、「自貢の杖」に代表される新島の教育精神のよつに、同志社大学独自の、誇るべき伝統に裏打ちされた建学の精神があります。ぜひこの建学の精神に触れてみてください。そして、皆さんが自立していくよりどころとしてキリスト教文化センターを利用してください。

チャペル・アワー

チャペル・アワーは、キリスト教主義大学である本学がもつとも大切なひとときとして皆さんに



提供している集会です。現代に生きる人間の諸問題を、学内外の様々な分野の人々に発言していただいています。チャペル・アワーは礼拝形式で行われますが、宗教色の濃いものではありません。自由にご参加ください。開始前には鐘の音色がキャンパスに流れます。

京田辺チャペル・アワー

とき 毎週水曜日10時45分から
ところ 京田辺校地

キリスト教文化センター集会所

火曜チャペル・アワー

とき 毎週火曜日18時5分から
ところ 今出川校地

同志社礼拝堂 神学館礼拝堂

水曜チャペル・アワー

とき 毎週水曜日10時45分から
ところ 今出川校地

同志社礼拝堂 神学館礼拝堂

公開講座

聖書、人権、文学、思想、歴史、音楽だけでなく手話や点訳の実技の習得など様々な講座を設けています。本学学生だけでなく、一般市民、他大學生なども受講しています。詳しくはキリスト教文化センター公開講座案内をご覧ください。

メディテーション・アワー

オルガン演奏を聴きながら心静かに自分を見つめ直す瞑想(meditation)のひとときをお過ごしください。今出川校地の同志社礼拝堂で同志社EVEまでの月曜日から金曜日の毎日13時から13時40分まで。

Doshisha Spirit Week

同志社大学がどのような大学なのか、キリスト教主義教育や、新島襄について、講師が分かりやすく話します。また、合唱団によるカレッジソングの指導、コトヒ・アワーなどを予定しています。自由にご参加ください。

とき 5月12日(月)～5月16日(金)

10時～16時

ところ 京田辺校地

知真館(TC)2号館203番教室

チャペル・コンサート キャンパス・コンサート



バイフォルガン演奏などの主に宗教音楽や讃美歌などを楽しむコンサートです(入場無料)。その都度、立看板、チラシ、HPなどでお知らせします。

クリスマスイルミネーション



両校地とも、同志社EVEの前後に点灯式を行います。

同志社京田辺

クリスマス燭火讃美礼拝



12月第1週の土曜日、京田辺校地の新島記念講堂で地元の方々も出演して行われるキリストの降誕を祝う一大イベントです。クリスマス物語

の寸劇、聖歌隊や合唱団の清らかな歌声、ハンドベルやトーンチャイムなどの澄みきった音に耳を傾けながら、クリスマスのひとときをお楽しみください。

CAMPUS NEWS

アジアを身近に考えよう。 学生企画「アジアンウィーク」開催

「自分が住んでいるアジアの様々な問題や出来事をもっと身近に、自分達のこととして感じて欲しい」と学生が企画する「アジアンウィーク」が2002年12月16～20日の5日間、京田辺キャンパスで開催された。

きっかけは、企画者の高橋さん(文学部3年次生)が戦場カメラマンである岡村昭彦氏の写真に出会ったこと。当初は写真だけを開催しようと考えていたが、写真を見てもらっただけではなく、みんなが参加できるイベントにしたいと考え、今回のアジアンウィークへと発展した。

約1年前から準備を開始。スタッフが增えるにつれてやりたいイベントが増



え、最終的には写真展の他、講演会、ワークショップ、留学生との交流会など、多岐にわたる学生企画として合計6つのイベントが開催された。

写真展は、第2のロバート・キャパと呼ばれた岡村昭彦氏のベトナム戦争での作品をテーマにしたもの。ベトナムの人達の平和を願う力強い生き方が写し出され、岡村氏自身も彼らに出会い、「そのような民衆のいるかぎり、かならず平和はかちとられるという確信を、私はもつことができました。このような人間を殺そうとする者が存在するあいだは、私はぜったいにカメラのシャッターから指をはなすことはないでしょう」と彼の著書に残している。氏の写真やメッセージからは平和への力強い願いがふれられていた。

また、19・20日には学生支援センターの協力のもと、クリスマスにあわせ、約1000個のキャンドルに灯をともしイベントが行われた。昼間降り続いた雨が止んだ夕暮れ、点灯が開始された暗くなるころには1000個のともしびがゆらめき、幻想的な光景にみとれる参加者からはため息も聞こえた。

高橋さんは、このイベントによつて参加した人達の意識がアジアに近づき、何か行動を起こすきっかけとなれば嬉しい。来年は今年参加してくれた人達が運営側になり、学内全体が盛り上がり上げていけば」と語った。

また、今回の企画グループHeadline Connection Projectはスタッフを募集

中。同志社大学で、「なにか始めたい」と思っている学生にぜひ参加して欲しいとのこと。

連絡先: today-master@ezweb.ne.jp



自ら立ち、自ら治める、 「函館キャンパス」



創立者新島襄が憂国の思いを抱き、21歳で幕府の禁を犯して脱出した北海道函館市を訪ね、創立者新島の生



得られた「自分自身を考え直す良い機会となった」素晴らしいきっかけを与えてくれたこのプログラムに感謝などさまざまな収穫を語っています。今年もこの共同生活体験を通じ、新たな発見と感動に満ちたキャンプになることをしよう。

【2003年度函キャン説明会】

【今出川校地】4月21日(月)17時～

至誠館3番教室

【京田辺校地】4月22日(火)17時～

多目的ホール

お問い合わせ先：学生課

「拉致被害者家族連絡会」の横田めぐみさんの両親が講演



これまでの参加者は、「同志社の伝統に触れ、感動した」「新島先生のことをもっと知りたいと思うようになった」「キャンプの準備は大変だったが、やり遂げた時の喜びは大きかった」「学部、学年、サークルを越えた生涯の友人が

演は本学日本近代史研究会が12月14日同志社EVEの一環として企画し、夫妻がその招きに応じて実現したもので、用意したDVD500枚は、発売開始後1時間半で完売し、約200人が別室で音声放送を聴講した。会場では被害者全員の救出を願うブルーのリボンが配られ、夫妻の拉致問題は解決したわけではなく、今後も関心を持ち続けてほしいなどの訴えに、学生らは終始



真剣に聴き入っていた。

講演では、まず滋さんがこれまでの経緯を述べ、続いて早紀江さんが失踪当日の様子などをまやかに語った。夫妻は、6年前にめぐみさんが北朝鮮にいたという情報を得てからずっと、政府などへ救出活動を粘り強く働きかけてきた。しかし状況はなかなか進展しなかった。それが9月17日の日朝首脳会

談を境に一変した。

学生の私たちにできることは何でしょうかという質問に、滋さんは、拉致問題にずっと関心を持ち続けることが大切。国民の関心が結果的に政府を動かす、真相解明へとつながります。早紀江さんは、北朝鮮について深く知ることも大切とそれぞれ答えた。

講演後、学生から夫妻に、連帯を表す青い千羽鶴と真相究明を求める535人分の署名が手渡された。

今回のフォーラムを企画した同研究会部員の早瀬善彦さん(文学部1年生)は、「この問題をより深く考えたい」と、横田夫妻に講演の依頼をしました。お話を聞いて、夫妻の問題解決への強い思いを感じました。これからこの問題に関わっていきたくと語った。

京田辺キャンパスの食堂(フオンタナ)リニューアルのお知らせ

京田辺キャンパスで長年親しまれてきた食堂フオンタナが2003年3月24日から店舗レイアウトからメニューまで一新してお目見えします。新店舗のコンセプトは、安い、早い、うまい!!

店名も変更し明るい雰囲気です。再スタートする新食堂をぜひ利用してください。ボリュームたっぷりのハンバーグランチや多彩な小鉢、基本メニューの上に好みの副食をのせて食べるオリジナルメニューなどをお楽しみください。

医療費等援助基金について

学生のみさんが病気になる時、両キャンパス内にある厚生館保健センターで診察を受けることができますが、この保健センターでの受診はすべて無料です。それは、大学が設置する「同志社大学医療費等援助基金」から保険診療の自己負担額を全額補助しているからです。その他、病気や怪我で通院や入院をして高額な医療費を支払った場合にも、保険診療の自己負担額が1カ月30,000円を超えたら一部補助(月額42,300円が上限)をしています。

また、学生が自分たちの健康維持や疾病予防、環境改善などのために積極的な活動をおこなっているサークル、学生保健部会」があり、広報誌「ZOOM」の発行や献血活動、歯科検診、ヤニ検査、講演会の開催など活発な活動をしています。

学生教育研究災害傷害保険について

学生生活を安心して過ごせるように保険料は全額大学負担で、学生全員が、学生教育研究災害傷害保険に加入しています。この保険は、学内や通学途中で発生した事故や災害の場合に支給されるものです。事故等の主な範囲は、講義、実験など正課を履修している間、入学式

やオリエンテーションなど学校行事に参加している間、および、以外で学校施設内にいる間、課外活動中、通学中や学校施設等相互の移動中の事故などです。ただし、無免許運転や飲酒運転、故意による事故の場合などには、保険金が支払われませんので注意が必要です。

詳しくは、厚生課生活係の窓口「学生教育研究災害傷害保険のしおり」が備えつけてありますので、必ず一度は読んでおいてください。また、事故や災害にあつた時は、すぐに厚生課まで連絡してください。

自転車で駆け抜けた京都・北海道

私達 部ワンダーフォーゲル部の夏合宿は、今出川校地を出発点として、琵琶湖の脇を通過して日本海に抜け、そのまま海岸沿いに本州最北端の下北半島大間まで行き、そこからフェリーで北海道の函館に渡り、再び海岸沿いに北海道を一周するという合計4000キロのサイクリング合宿でした。

参加メンバーは、田村圭佑(文3)、佐藤哲郎(法3)、寺脇大蔵(商3)の計3人です。

この3年間、我が部は登山、カヌー、スノー、サイクリング等の合宿を全国各地で行ってきました。そしてその集大成として大学生活ならではの思い出を作ろうという有志が集まり計画したのが



この計35日間にわたる合宿でした。

最初は無謀に思えたこの挑戦を無事終えられたのは、旅先での忘れがたい多くの出会い、そして美しい自然という支えがあったからこそです。

私達はこの合宿を通して大きな自信を得ることができました。「これから」の経験を無駄にすることなく、日々挑戦を続けていきたいと思えます。

文学部3年次生 田村圭佑

卒業生の集い 同志社大学ホームカミングデー 2003のご案内

「同志社大学ホームカミングデー 2003」の開催期日・場所が決定いたしました。

日時：11月2日(日)10時～16時
場所：同志社大学京田辺キャンパス
なお、プログラム等の詳細につきましては確定次第、本誌ならびに「ホームページ」・校友メールマガジン」などで逐次お知らせいたします。

お問い合わせ先：同志社大学校友課
TEL: 075-251-3009

Neesima Room 企画展「遺品から見る新島襄」

日時：4月1日(火)～8月29日(金)
9時30分～17時(土曜日は正午まで、日曜日は10時～8月の平日は16時まで)

場所：Neesima Room(今出川校地 八入理化学館2階)

開室日：祝日、4月29日～5月5日

8月11日～15日、8月の土曜・日曜日

入場料：無料

お問い合わせ先：同志社社史資料室

TEL: 075-251-3042

E-mail: jshasi@mail.doshisha.ac.jp

田井ゼミ・近江ゼミ対抗法律討論会

好天に恵まれた創立記念日の2002年11月29日、同志社びわこリトリートセンターに早稲田大学法学部の近江幸治ゼミ(民法、3・4年計34人

同志社大学からの交換留学生1人を含むをお招きし、わが田井義博(注)計37人へのゼミ対抗法律討論会」が開催された。問題は、盗品高級ウインドバイクを市場を経由して購入したものと、原所有者との所有権や使用利益の帰属等多岐にわたるものであり、「最高裁第三小法廷平成12年6月27日判決」を踏まえて近江教授が工夫を加えたも



のであった。議論は両ゼミ各2人の司会者のもと4時間以上におよび白熱したものとなった。論点は主として民法193条・194条等に係わり、前半は盗まれた後の2年間の所有者は誰か、後半はその間の使用・収益は誰に帰属するのか、原所有者が取得者に支払う「代価」の法的性質はなにか等であった。討論後は、近江教授、田井教授による講評があり、さらに両教授の友人の村田博史京都産業大学教授も駆け付

けてくださった。近江教授からは、何れ月にもわたる両ゼミの相互連絡や準備等にねぎらいの言葉がかけられ、優秀な論者3人に賞品が贈られた。

夜の部(一部と称す)は、夕食・お風呂・各部屋での飲み会で深夜まで盛り上がり、翌30日は両大学混成4チームに分かれて、田井ゼミが力を入れて企画した銀閣寺周辺コースや河原町コース散策などを楽しんだ。2003年度の討論会は田井ゼミが早稲田大学にお邪魔することになっている。遠く想い起こせば、大隈・新島の親交、早稲田大学創設時の浮田和民等の貢献、また近時は、早稲田大学と同志社大学の学生交換留学等、両大学間には100年以上にわたる親交の歴史がある。そのような意味からも、両ゼミ生の学問的競争と相互の友情を今後とも大切にしていきたい。

法学部3年次生
田井ゼミ幹事・杉本保



左から、近江(早大)村田(京産大)田井(法学部)の各教授

「漢まさ子様を偲ぶ会」が執り行われる

11月2日、神学館礼拝堂で、経済学部主催による「漢まさ子様を偲ぶ会」が友人はじめ学校関係者およそ140人の参列のもとに執り行われた。



これは、2000年11月11日に美山町芦生の京都大学演習林でゼミ活動の一環として実施された「フィールドワークの際に自動車の転落事故により亡くなられた経済学部2年次生漢まさ子さんを偲んで執り行われたものである。

偲ぶ会は、キリスト教文化センター所長による聖書朗読並びに祈祷により始まり、大学長による在学記の授与、続いて大学長および経済学部長による追悼の辞、その後、ゼミの指導教授および友人代表から各々漢まさ子さんを偲ぶ言葉が述べられた。

大学長からは、健在であれば、来春には「学位記」を授与すべき前途有為な学生でありながら、それを果たしえず、社会に送り出すことができなかったことへの無念さが述べられた。また、経済学部長からは、漢まさ子さんが将来に向け

て抱いていた夢や目標を達成することなく、その願いを「瞬間のうちに断ち切られた」とは痛恨の極みであり、二度とこのような不幸な出来事起さないよう努めるとの言葉が述べられた。最後に参列者一同で献花を行い、漢まさ子さんの御霊の安らぎと平安を祈り、偲ぶ会を閉じた。

春学期奨学生募集と学費の延納・分納について

2003年度春学期奨学生募集
【学部】日本育英会奨学金

出願期間

【京田辺】

2年次生以上

4月8日(火)～9日(水)

1年次生

4月15日(火)～17日(木)

【今出川】4月9日(水)～10日(木)

【学部】民間団体奨学金 志望登録団体)

出願期間

【京田辺・今出川】

2年次生以上

3月25日(火)～27日(木)

1年次生

4月4日(金)～5日(土)

【大学院】同志社大学大学院奨学金
日本育英会大学院奨学金

出願期間

【京田辺】4月8日(火)～9日(水)

【今出川】4月9日(水)～10日(木)

3月20日から、奨学金出願のしおり」

を厚生課奨学係で配布しています。
 春学期学費延納・分納
 手続期間 4月1日(火)～28日(月)
 厚生課奨学係で受け付けます。学
 生証と印鑑を持参してください。
 期間内に学費を納入できない人は
 必ず手続きをしてください。

日本育英会奨学金
 緊急・応急採用について

失職、破産、会社の倒産、病氣、死
 亡等または火災、風水害等による家
 計急変により経済的困難が継続する
 と見込まれる人は緊急第一種・応
 急きぼう(2)採用の対象となります。
 ただし、申請はその事由が発生した時
 から一年以内に限ります。2002年
 度は41人(2003年2月現在)が採
 用されました。

日・EUフレンズシップ
 ウィーク公開講演会・
 シンポジウム開催

日・EUフレンズシップウィークの一
 環として、一般公開の講演会とシンポ
 ジウムを開催します。どなたでもご参
 加いただけます。

【日時】2003年5月31日(土)

13時～14時30分

講演・駐日欧州委員会 大使予定

15時～17時30分

シンポジウム

「欧州憲法とEUの将来」

基調講演・中村民雄

東京大学社会科学研究所助教

パネリスト(セッション)

【場所】今出川校地神学館礼拝堂
 【主催】総合情報センター・駐日欧州委員会
 同志社大学ワールドワイド

ビジネス研究センター

EU資料センター(大学図書館)

今出川校地には学生・研究者のみならず、一般市民に情報を提供する
 ために設置されています。

お問い合わせ先：総合情報センター 学術
 情報課

TEL: 075 251 3960

Present for You

タレント清水圭さんの
 サイン色紙を差し上げます。

本名清水圭太さん、'85年商学部卒。吉本興業所属。

テレビ番組撮影のために本学を訪問された際に頂きました。

ご希望の方は、官製ハガキもしくはE-mailで、住所・氏名・学部(卒業生の方は出身学部・
 卒業年)・「One Purpose」についての感想(をご記入の上、2003年4月30日(消印有効)
 までにご応募ください。抽選のうえ3人の方にプレゼントいたします。発表は、発送をもって
 かえさせていただきます。広報課の住所・E-mailアドレスは裏表紙をご覧ください。

新任教員紹介

今年度4月1日から新たに30人の先生方を迎えします。
 所属(学科) 職名 主な担当科目 ()は専攻



中田 考
 (なかつ こう)
 神(神)
 教授
 イスラーム学



四戸 潤弥
 (しのへじゅんや)
 神(神)
 教授
 イスラーム学



金津 和美
 (かなつ かずみ)
 文(英文)
 専任講師
 Communication in
 English



岩坪 健
 (いわつぼ たけし)
 文(文化)
 教授
 日本文学講読



神谷 勝広
 (かみや かつひろ)
 文(文化)
 助教授
 日本文学講読



清瀬 みさを
 (きよせ みさを)
 文(文化)
 助教授
 芸術学特論(1)、(2)



岡田 幸宏
 (おかだ ゆきひろ)
 法(法律)
 教授
 民事訴訟法1、2



佐藤 嘉彦
 (さとう ましひこ)
 法(法律)
 教授
 刑法研究1、2



瀬領 真悟
 (せりょう しんご)
 法(法律)
 教授
 経済法1、2



北山 修悟
 (きたやま しゅういち)
 法(法律)
 助教授
 債権法1、2



西村 安博
 (にしむら やすひろ)
 法(法律)
 助教授
 日本法史1、2



倉部 真由実
 (くらへ まゆみ)
 法(法律)
 助手
 (民事訴訟法)



出原 政雄
(いずはら まさお)
法(政治)
教授
日本政治思想史1、2



大矢根 聡
(おおやね さとし)
法(政治)
教授
国際政治学1・2



茂見 岳志
(もみ たけし)
経済(経済)
専任講師
初級ミクロ経済学



小橋 晶
(こはし あきら)
経済(経済)
助手
(産業組織論)



青木 真美
(あおき まみ)
商(商)
教授
交通論



石田 信博
(いした のぶひろ)
商(商)
教授
ロジステイクス



大原 悟務
(おおはら さとむ)
商(商)
専任講師
商品学



廣垣 俊樹
(ひろがき としき)
工(エネルギー・機械)
助教
材料加工



水谷 義
(みずたに ただし)
工(機能分子工)
教授
機能分子計測学



土屋 活美
(つちや かつみ)
工(物質化学工)
教授
移動現象論、



石井 泉美
(いしい いずみ)
言語文化教育研究センター
専任講師
英語



Bettina GLENHARD
(ベティーナギルデンハルト)
言語文化教育研究センター
専任講師
ドイツ語



井上 恒男
(いのうえ つねお)
総合政策科学研究科
教授
公共福祉論



Gavin James CAMPBELL
(ギャビンジェームズキャンベル)
アメリカ研究所
助教
アメリカ文明論1、2



山口 栄一
(やまぐち えいいち)
経営大学院設置準備室
教授



石黒 武彦
(いしくろ たけひこ)
研究開発推進機構
専任フェロー



加地 伸行
(かじ のぶゆき)
研究開発推進機構
専任フェロー



宇澤 弘文
(うさわ ひろふみ)
研究開発推進機構
専任フェロー

退職教員紹介

2003年3月31日付で次の先生方が退職されました。

- 石黒 昭博 文学部教授
- 岩山 太次郎 文学部教授
- 郡 定也 文学部教授
- 向井 芳樹 文学部教授
- 佐藤 幸夫 法学部教授
- 仙元 隆一郎 法学部教授
- 藤村 幸雄 経済学部教授
- 今村 宏 経済学部教授
- 西川 宏 経済学部教授
- 岩下 正弘 商学部教授
- 竹林 眞一 商学部助教
- 原 敬 工学部教授
- 三森 定道 工学部教授
- 田中 義文 工学部助手
- 越村 寛一 工学部実験実習センター実験講師
- 有馬 輝臣 言語文化教育研究センター教授
- 横山 卓雄 理工学研究所教授

原田 等 工学部専任講師は、2月26日にお亡くなりになりました。

四谷 晃一

【経済学部助手】

Book

『盲導犬クイールの一生』はクイールという名の一匹の盲導犬の一生を綴った150ページ足らずの短い本です。クイールはわき腹にかもめの形をした黒いフチ模様を持つ、ラブラドル・レトリバーには珍しい犬でした。この本には、そのクイールが誕生してから育ての親であるパピーウォーカーの下で成長し、盲導犬訓練所でトレーニングを受けた後、盲導犬として活躍し、そして引退後息を引き取るまでの様子が、クイールと彼を取り巻く人々との多くの写真とともに淡々と綴られています。

クイールは盲導犬としてそれほど特別な生涯を過ごした犬ではないので、この本を読むことで一般的な盲導犬の一生を簡潔に知ることが出来ます。彼は東京の水戸さんというお宅で普通の家庭犬の子として生まれ、盲導犬になるべく生後43日でパピーウォーカーのボランティアをしている京都の仁井さんというご家庭に預けられます。そこで愛情に包まれた自由奔放な仔犬時代を過ごした後、生後8カ月で京都府亀岡市にある関西盲導犬協会の訓練センターへ移り、ベテラン訓練士の多和田さんという方の下で視覚障害者のパートナーとして働くことの喜びを知っていきます。そして1年半の訓練の後、亀岡市に住む渡辺さんという視覚障害者を持つ方のパートナーとなります。ともに固い信頼で結ばれ充実した日々を過ごしますが、2年たったころ渡辺さんが病気で入院され、その後亡くなられたため、盲導犬普及のためのデモンストラクション犬として小学校などで盲導犬の仕事を実演することに仕事を变えます。やがてその仕事も体力の衰えを機に引退し、育ての親であるパピーウォーカーの仁井さん宅で静かに余生を過ごした後、盲導犬が引退後パピーウォーカーの下で暮らすのは珍しいことなのだそうですが、12歳と25日で息を引き取ります。

大好きでなくとも、クイールの成長記録の端々に垣間見える、彼を取り巻く人々との揺るぎない信頼関係に心洗われると思うのですが、私のもう一つの発見は盲導犬が京都と馴染み深いものであるということでした。京都府亀岡市にある関西盲導犬協会は、盲導犬の育成普及を願う市民の手で1980年に設立され、現在年間約10〜20頭の盲導犬が育成されているそうです。ホームページには協会の様々な活動が紹介されています。
(<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kgdba/>)



『盲導犬クイールの一生』

DVD 発売元：大映株式会社 本 石黒謙吾(文)秋元良平(写真) 文藝春秋
定価：3,400円(税別) 2001年 定価：1,429円(税別)

また、1989年までは亀岡市でなく京都市内の民家を改造した訓練所を使っていたそうなのですがクイールも最初の訓練はその中で受けたそうです。DVD版『クイールの一生』に同時収録されている1987年制作の盲導犬育成記録映画『グッドキッド』ではその旧訓練所や京都市内を舞台に行われる盲導犬訓練の映像を見ることが出来ます。クイールの部屋」というこの本の情報などを載せたホームページも開設されていますので、一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。
(<http://bunshun.topica.ne.jp/quill/index.html>)

本学教員の最新刊 (※表台情報センター調べ)

相続法 伊藤昌司 著 有斐閣	4 200 円
佐々木史朗先生喜寿祝賀 刑事法の理論と実践 川崎友巳 他 著 第一法規	1 600 円
近代日本のアポリア シリーズ・近代日本の知 第2巻 西田毅 編 見洋書房	3 600 円
刑事法入門 第4版 大谷實 著 有斐閣	2 100 円
医療と社会 看護のための最新医学講座 35 山崎美貴子、瀧澤利行 編 大谷實 執筆 中山書店	1 044 0 円
第9回春日井シンポジウム 東海学が歴史を変える―弥生から伊勢平氏まで― 森浩一 編 加美宏、鋤柄俊夫 他 執筆 五月書房	2 200 円
行政の新展開 市川喜崇 他 著 法律文化社	2 800 円
現代企業法入門 第3版 森田章 著 有斐閣	2 100 円
アメリカ留学への招待―アメリカの社会と大学― 中村聡子 他 著 世界思想社	1 800 円



『新スタートレック DVDコンプリート・シーズン1』

発売元：パラマウント ホーム エンタテインメント
 ジャパン 定価17,800円(税別) 発売中

DVD

井上 馨

【工学部助手】

“Space, the final frontier. These are the voyages of the starship Enterprise... to boldly go where no man has gone before...” という印象的なセリフから始まるS.T.といえは“STAR TREK”シリーズです。スタートレックに今と来ない方でも、とんがり耳のミスター・スポックやカーク船長という名前が、一度は耳にされたことがあるのではないのでしょうか？

今回私がご紹介するスタートレックは、1966年にアメリカで始まったSFテレビドラマシリーズで、これまでに4作が制作され、それぞれが数十話〜百数十話という非常に多くのエピソードで構成されています。ミスター・スポックやカーク船長が登場するのは、第1作目の“The Original Series”で、未知の宇宙を探検し困難を乗り越えるクルーの活躍を描いたこの作品は、当時としては緻密でリアリティーのある未来描写により、トレッキーと呼ばれる熱狂的なファンに支持されました。そして次々に新しいシリーズが制作され、第2作目の“The Next Generation”や第4作目の“Voyager”、アメリカで制作・放

送が開始された最新シリーズの“Enterprise”は、第1作目と同様に未知の大宇宙を冒険するお話を、第3作目の“Deep Space Nine”では静止した宇宙ステーションを舞台に、異なる文化間での衝突、人間の弱さや成長を中心としたストーリーが展開されています。この他に映画や小説なども多数リリースされており、非常に広大な物語の世界を築いています。

ところで、私がスタートレックと出会ったのは、学生時代の定期試験のための勉強中、現実逃避にとテレビをつけたのがきっかけでした。それ以来、徐々にのめり込んでしまい、放送が深夜にあつたことが災いして、次の日の1講時には遅刻する日々が始まりました。私のがめり込んでしまったスタートレックの魅力とは、何なのでしょう？ 高度な特殊メイクやCGの美しさ、個性豊かなキャラクターの人間模様、戦争や環境問題などの現代が抱える問題の風刺、散りばめられたユーモアなどは勿論ですが、特にキャラクターの心の描写がとても緻密なのです。失敗して落ち込んだり困難を乗り越え成長するキャラクターに共感を覚え、自分を重ねてしまうこともあります。しかし、一番の大きな魅力は、誰もが小さな頃に夢見た宇宙への旅、人類未知の領域を探検することへのあこがれを、広大な物語の世界の中で具現化していることだと思えます。自分が宇宙を旅しているかのような気分させてくれますよ。

ぜひ一度、テレビや映画でご覧になって下さい。関西テレビでは、火曜日深夜に“Deep Space Nine”を放映しています。基本的に1話完結ですから、どの話から見ても大丈夫で

日本法社会史を拓く
 井ヶ田良治 著 部落問題研究所 5200円

紫式部の方法―源氏物語・紫式部集・紫式部日記―
 廣田収 吉海直人 他 著 笠間書院 8800円

ビジネス英語を学ぶが、ちくま新書3800
 亀田尚己 著 筑摩書房 680円

解雇法制を考える 法学と経済学の視点
 土田道夫 他 著 勁草書房 3700円

現代の英語科教育法
 石黒昭博、山内信幸、赤松信彦、北林利治 共著 英宝社 2400円

太平記秘伝理尽鈔1 東洋文庫7009
 加美宏 他 校注 平凡社 3000円

中世の心象―それぞれの“受難”―
 二村宏江 著 南雲堂 15000円

國書・逸文の研究
 所功先生遺稿記念会 編(竹居明夫研究室) 臨川書店 33000円

卒業生の新刊図書

『マーケティング戦略会議』

内藤 和美さん (1958年 文学部卒業)
 するる舎 16000円(税別)

歌集『若月祭』

梅内 美華子さん (1993年 文学部卒業)
 雁書館 27000円(税別)

『国際取引法と契約実務』

飯田 浩司さん 他 (1985年 法学部卒業)
 中央経済社 32000円(税別)

す。ただ、次の日の寝坊には十分気をつけて下さいね。また、今年4月には最新映画“ネメシス”が公開される予定です。スタートレックの世界を楽しみ、そして時には夜空を見上げて大宇宙に想いを託してみたいいかがですか？

「仕事」

MY JOB
MY LIFE

体育会委員長としての
経験は、学生時代の
貴重な財産。

大学時代の思い出といえば、私の場合は課外活動に行き着きます。所属していた体育会射撃部もさることながら、体育会委員長を務めた経験が、社会人になった今も生きています。射撃部の活動に集中すべきところを、体育会本部の活動に時間をとられるわけですから、競技生活にとってはマイナスとなることもありましたが、それを補って余り有る収穫が得られたと思います。委員長の仕事は、各体育会系クラブの主将や主務との会議、学生部との調整、卒業生組織であるスポーツ・ユニオンとの交流など、多岐にわたります。また、先輩から引き継いだものに海外との交流という企画もありました。同志社大学の場合、大学からの制約が少なく、学生の自主性が重んじられる一方で、大学や卒業



生をはじめとする多くの皆様からの声援・支援が大きく、とくにやり甲斐があり、メンバー全員で周囲の理解を得ながら、体育会全体の強化に努力していました。こうした活動で重要になるのは横の調整です。各クラブが小異を捨てて大同につける条件を整えないとみんな動いてくれないのです。

卒業後、私はJR東海に就職。最初は、関西支社で、JR東海関西地区で所有する不動産物件の貸付等開発業務を担当しました。鉄道会社でありながらデベロッパーの仕事をしていたわけですが、JRは、民営化以降「鉄道事業とは別の、関連事業の中核事業の確立」として有効資産である駅の活用に積極的に取り組んでいたのです。

3年間関西に勤務した後、名古屋に転勤。JR東海グループの3大プロジェクトの一つとされていたJRセントラルタワーズ名古屋駅ビルに携わることになりました。開業を3年後に控え、たいへんなところをきかちったというのが最初の感想でした。社運をかけた事業だけに、喜びよりも不安の方が大きかったし、事業の内容も、駅という基本機能に、ホテル、百貨店、オフィスという3つの機能を併せ持つ日本一の大きさの超高層複合ビルを建てるという国内では前例のない試みでし

た。私はオフィスや飲食街等の後方支援から販売促進、開業準備に従事。想像していた通り多忙を極めました。1999年12月にオフィスフロアが稼働、翌年3月に百貨店、5月にホテルが開業と、グランドオープンまで半年近くを要したためか、ずっと緊迫感のある日々が続きました。

おかげで事業は不況下の現在も、予想を上回る成功をおさめています。こうした大きな事業の現場を経験して感じたことは、上意下達も必要ですが、横の連絡を密にし、理解しあってみるまで前へ向かうときに大きな力が発揮されるということです。これこそ私が体育会委員長として体験したことであり、同志社人の良き気風が生かされる状況なのです。就職戦線は厳しさを増していると聞いていますが、学生時代にはこんなことに打ち込みましたと胸をはって言える人を企業は求めています。そして、大学とはそうしたテーマを探しに行くところではないでしょうか。

P R O F I L E

多田 穰一さん

【1994年 法学部法律学科卒業】
東海旅客鉄道株式会社
事業推進本部 事業開発グループ



多田さんの在学中、大学スポーツは過渡期にあつたという。1年次の頃はまだ精神主義が中心で、各クラブとも激しい練習を課していた。多田さんもその影響で体を壊し、ハンドボール部を退部。偶然見学した射撃部に入部することになる。やがて科学的な練習が取り入れられる。体育会本部に在ると他のクラブの練習方法を聞き出せる。これはかなりメリットでした。多田さんの在籍中、射撃部は関西学生選手権、西日本学生選手権の団体戦で種目別優勝、総合準優勝。多田さん自身も全日本学生選手権に出場しており、本部役員との二役を見事にこなし立派な成績を残している。

私は高校時代から新聞記者への夢を育んできました。発足したばかりの「リーグ」に魅せられ、サッカー選手を間近で取材し、自分の言葉でその感動を伝えたいという素朴な動機からでした。

大学では当然のように新聞学を専攻しました。しかし、勉強していくにつれ、現実の世界の現実が私に思っていたようなものではないことが分かってきました。目標を失いかけた私を救ってくれたのは旅行でした。今でいうデパ地下でアルバイトをし、お金が貯まると海外へ。辺見庸さんの小説に出てきそうな光景を探してベトナムやカンボジアなどを旅するのです。数多く回ったアジアの中で私のお気に入りにはインドネシアでした。インドネシア語は覚えやすく、日常会話が話せるようになる。また訪れてみたくなりました。ホテル業界

シリーズ

MY JOB, MY LIFE

第19回

私と

仕事に打ち込むこと
から生まれた
新たな夢と可能性。

学生時代、とても無口だったあの人が、
学生時代、英語の苦手だったあの人が、
このシリーズは、毎号それぞれの分野で活躍する
何を考えてきたかを取材しています。
学生諸君には将来のキャリア・プランと学生

に就職しようと考えているようになつたのも、インドネシアのバリ島で偶然高級ホテルに泊まる機会を得てからでした。アルバイトで接客の楽しさは知っていましたが、そのグレードの高いサービスとホスピタリティーには改めて感服させられたのです。

厳しい就職戦線でしたが、私はホテル業界一本に絞って活動しました。当初はフロントを志望していましたが、大学からホテルで働く先輩を紹介いただき、その話を聞いてからはプライダル係を志望するようになり、現在は軽井沢プリンスホテルでプライダルコーディネーターをしています。

当ホテルに勤務してまもなく5年になりますが、その間いろいろな体験をしました。そして感じたことは、華やかに見える職場ほど、その実態は厳しくつらいということです。就職活動中、面接担当者に「お客様のためにあなたは何をして差し上げられますか」とたずねられたことがあります。今にして思うと、その質問には、「お客様がトイレに腕時計を落とされたら素手でそれを拾うくらいの覚悟



P R O F I L E

えはら 江原 敦子さん

【1998年 文学部社会学科
新聞学専攻卒業】
軽井沢プリンスホテル
プライダルコーディネーター



ここ最近、大学時代の友人からも結婚式への招待状が届くことが多くなってきたそうだ。「そんなときうれしいのが、ドレスとブーケの合わせ方など、プロの視点でアドバイスしてあげられること」と語る江原さん。仕事柄、スピーチだけでなく司会を頼まれることもあって、うれしい悲鳴だとか。

が必要ですよ」というメッセージが隠されていたのです。そうした厳しさの半面、私は「この仕事に期待していた以上のものを見つけたことができました。それはものを創る喜びというのでしょか、披露宴のテーブルコーディネーターや婚礼プランの企画をしていると、自分がやりたかったことで、これだ！ たんだ！ と思えるくらい充実感が味わえるのです。

一時はこんな厳しい業界では、とてもやって行けそうにない、とくじけそうになったこともありましたが、できないと思えたことが曲がりなりにもやってみられた今、不可能だと思っていることも、その気になれば可能になるのだと考えるようになりました。また、どんなことでも自分の夢や、やりたいことにつながる可能性を秘めていることに気づきました。

後輩の皆さんには、私よりもっと大きな可能性が広がっているのですから、自分で自分にブレーキをかけるのではなく、とにかくやりたいことにチャレンジして欲しいですね。

お知らせ

ANNOUNCEMENT



映画上映 / 2003(春学期)

【場所】多目的ホール(京田辺校地) 【料金】無料

【時間】毎週火曜日12:30 ~ 15:00 ~

待ち望んでいた! ~世界との競演~

- 4月 15日(火) 「Dolls」 02年日本(北野武監督)113分
- 5月 13日(火) 「八人の女たち」 02年フランス(フランソワ・オゾン監督)111分
- 5月 20日(火) 「刑務所の中」 02年日本(崔洋一監督)93分
- 5月 27日(火) 「酔っぱらった馬の時間」 00年イラン(アフマン・ゴバディ監督)80分
- 6月 3日(火) 「OUT」 02年日本(平山秀幸監督)119分
- 6月 10日(火) 「ジョンQ」 02年アメリカ(ニック・カサヴェテス監督)116分
- 6月 17日(火) 「ピンポン」 02年日本(曾利文彦監督)114分

サマーコンサート in 多目的ホールラウンジ

6月 30日(月) ~ 7月 4日(金) 12:30 ~ のみ(出演学生団体募集中)

【お問い合わせ先】学生課(京田辺)

【TEL】0774-65-7410

新入学生歓迎特別講演会

チャペル・コンサート

あらがき つとむ
~新垣 勉おしゃべりコンサート~

【講師】新垣 勉さん(テノール歌手)

ラテン系アメリカ人を父に沖縄で生まれ、助産婦の過失から失明。さらに両親との離別という逆境を乗り越えた天才テノール歌手、新垣勉さん。新入学生の大学生活のスタートを素晴らしい歌声と「オンリーワンのメッセージ」で歓迎します。

【日時】4月22日(火)15:00 ~ (14:30開場)

【場所】多目的ホール(京田辺校地)

【お問い合わせ先】学生課(京田辺)

【TEL】0774-65-7410

障がい学生支援スタッフ大募集

アシスタントスタッフ(有償)・ボランティアスタッフ(無償)

障がい学生支援制度説明会

【日時】4月2日(水) ~ 4月4日(金)15:00 ~ 15:30

【場所】京田辺校地ラウンジ棟207会議室

ノートテイク基礎講習会

【日時】4月2日(水) ~ 4月4日(金)15:30 ~ 16:30

【場所】京田辺校地ラウンジ棟207会議室

【お問い合わせ先】学生課(京田辺)

【TEL】0774-65-7410

「総合情報センターホームページ」リニューアル



総合情報センターホームページをリニューアルしました。本センターが提供するサービス、情報、機器、設備など、このホームページに網羅しています。ぜひ一度ご覧ください。

<http://www.doshisha.ac.jp/gakujo/index.html>

フレッシュマンキャンプ2003 (新入学生対象)申込受付

【日程】4月19日(土)・20日(日)

【場所】同志社びわこリトリートセンター

【参加費用】5,200円(宿泊費、食費)

【申込期間】4月1日(火) ~ 11日(金) 先着順受付(100人)

【申込み先】学生課窓口(京田辺校地または今出川校地)

【お問い合わせ先】学生課(京田辺)

【TEL】0774-65-7410

就職部からのお知らせ

学生諸君の就職活動支援のため、大阪、東京にオフィスを開設しています。パソコンでの企業情報検索および時間待ちにぜひご利用ください。「卒業見込証明書」「成績証明書」「学割」の発行をオフィスで受け付けます。

大阪

【場所】大阪市北区梅田1丁目11番4
大阪駅前第4ビル3階301号

【TEL】06-4799-3255

【開室期間】4月 ~ 7月

【開室日時】月曜日 ~ 土曜日
10:30 ~ 18:30



東京

【場所】東京都千代田区大手町2丁目6番2号
日本ビルヂング5階566区

【TEL】03-3516-7577

【FAX】03-3516-7579

【開室期間】2003年2月 ~ 6月

【開室日時】月曜日 ~ 金曜日
9:00 ~ 20:00
土曜日 9:00 ~ 16:00

開室時間については、随時就職部ホームページ
「仕事蔵」でお知らせします。

<http://shushoku.doshisha.ac.jp/>



赤い矢印は地下街での道順です。

お便りお待ちしております

『One Purpose』は、学生・卒業生のみなさんと大学とのコミュニケーションをはかることを目的として発行しています。さいななことで結構ですので、どしどし広報課までご意見をお寄せください。

One Purpose

 <ワンパーパス>

同志社大学通信134号

2003年4月1日(4・6・10・12月年4回)発行

発行 同志社大学 広報課

〒602-8580 京都市上京区今出川通丸東入

TEL 075-251-3120 FAX 075-251-3080

E-mail ji-koho@mail.doshisha.ac.jp